

～香りへの配慮について～

昨日(7/27)、海老名市保育・幼稚園課より『香りへの配慮に関する啓発ポスターについて』の周知依頼がありました。

柔軟剤などを使用する消費者に向けて、香りマナーの啓発をさらに推進するため、啓発ポスターが改訂されたとの事です。改めて保護者の皆様にも情報を提供させていただきたいと思っております。

7月上旬にも海老名市教育委員会から化学物質過敏症について市内の小中学校保護者様宛てに情報提供がありました。その内容の一部に、柔軟剤等に含まれる香料等による化学物質の影響で、体調不良を訴える相談が、特に夏場に向けて多くなると記載されていました。暑い日が続く、体力の消耗も激しい中、化学物質の影響が大きくなることを考えると、改めて注意が必要であるという事を皆様にお知らせしたいと思っております。

化学物質過敏症の症状として、頭痛やめまい、吐き気、倦怠感などが現れるようですが、原因物質の特定ができず、発症しやすい人の特徴もないようです。いつ誰が発症しても…と考えると子ども達の為に、原因になるものを取り除いていく必要があると感じています。小さなお子さんの発症者も増えているようです。目に見えない空気ですが、子ども達が安全に過ごせるよう配慮したいものです。

《香らないための工夫》

気温が上昇する夏は、衣類についた汗や生乾きのにおいが気になりやすい季節です。そのにおいを目立たなくするために柔軟剤などで衣類に香りをつけるという方もいるかもしれませんが、しかし、香りをつける前に、まず洗濯で衣類の汚れや菌を根本から取り除く方が、におい対策には効果があります。また、すすぎをしっかりとすることや洗濯物を日に干すことも気になるにおいを取り除く方法としては有効です。洗う時は、洗濯物1kgに対し、水10ℓが目安です。すすぎは、2～3回することで、しっかりと汚れを取ることができるようです。

○香りのない虫除け対策も…○

園では、虫除け対策としてレモンガラスの精油を使用しております。今年は、子ども達への影響を考慮し、殺虫成分や忌避剤などを使用していないオニヤマ(トンボの模型)や粘着シート、LEDソーラーのランタン、蜂の巣ガードなどを選んでみました。蚊取り線香にも天然成分が使用されているものもありますが、今年は使用せずに過ごしたいと思っております。

